



アンチタックBTO-31LF

BTO-31LF は防着効果の優れた最新のステアリン酸マグネシウム分散液です。BTO-31LF は洗浄、防錆そして気泡等を考慮し配合された防着剤ですので、バッチオフマシン(浸漬浴槽、スプレーシステム)にも最適です。

アンチタックBTO-31LFはステアリン酸亜鉛のような重金属イオンを含んでおりませんので、環境毒性汚染の懸念は全くありません。この防着剤は近年問題視されている生態学的基本方針を考慮し開発された防着剤であり、公的機関により14日以内に85%が微生物分解されるという事が認証されています(OECD-301c Miti-Test)。

アンチタックBTO-31LFに使用しております、高純度ステアリン酸マグネシウムの融点は135℃で、未加硫ゴムシートの表面に密着し防着効果を保ちます。ゴム加硫時の温度領域ではステアリン酸亜鉛同様に溶解し、ゴムコンパウンド中に浸透し、加硫ゴムの物理特性を損なわず、又、ゴム/金属の接着及びゴム/繊維の接着を阻害する事ありません。加硫後の金型離型効果も期待できます。更に金型汚染などの悪影響も無く、ゴム表面肌も美しく仕上がります。

アンチタックBTO-31LFは押出し製品のプロファイルやホースの加硫前、加硫後或いは高圧蒸気釜での加硫時に接触部の粘着性を防ぎます。

アンチタックBTO-31-LFは特殊添加剤を混合しており、電気伝導率を計測することで分散濃度を測定する事ができます。自動投入システムに電気伝導率計を接続すれば常に一定の濃度でバッチオフシステムを連続操作することが出来ます。

多くの企業で既にアンチタックBTO-31LFは導入されており、素晴らしい効果が以下のように確認されています。

- 極めて微粒子のステアリン酸マグネシウムが使用されているという事と、素晴らしい分散安定性により希釈率が10倍だったとしてもゴム部品表面はきれいです
- 気泡の問題がありません
- シリカ、チョーク、ベントナイトなどの充填剤を含んだステアリン酸亜鉛をベースとする一般的な防着剤と比較し、バッチオフ設備の汚染は最小限に抑えられます。
- 高い防着効果のあるアンチタックBTO-31LFは高い希釈率で使用する事ができます。このことは原料コストの低減と洗浄回数削減につながります。

※初期テストの希釈倍率は15倍から始めてください。

希釈方法は、先ずアンチタックBTO-31LFと水を1:1に混ぜ、序々に15倍まで薄めてください。

※必要倍率に希釈後、使用する前によく攪拌してください。その結果、粘度が下がります。(チキントロピー効果)

物理的特性

化学的特性	:	ステアリン酸マグネシウムと洗剤、防錆剤、消泡剤の混合物
外見	:	白色ペースト状、中粘性
比重 (20℃)	(g/cm ³)	: 約 1.02 (計算上)
乾燥物質 (0.5g/15min/109℃) (%)	:	29 ± 2.5
PH値 (20℃) 10倍希釈	:	9.5 ± 1.0
かさ比重 (g/ml)	:	約 0.6
灰分 (%)	:	61 ± 2
貯蔵安定性	:	オリジナル密封梱包ドラムで2年
梱包	:	100kg/プラスチックドラム